

# 第44期 ビジネスレポート

2019年7月1日▶2020年6月30日

トップメッセージ .....	1
連結決算ハイライト .....	3
セグメント別業績 .....	4
株式情報 .....	5
会社情報 .....	6

## トップメッセージ



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま、感染拡大により影響を受けている皆さま、そのご家族や関係者の皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。  
また、感染拡大防止にご尽力されている皆さまには、心から感謝申し上げます。  
当社は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止により一層配慮し、企業活動を通じて皆さまの生活の安全確保に貢献できるよう努めてまいります。

### 新経営体制への移行

このたび、第44回定時株主総会において取締役役に選任され、その後の取締役会において代表取締役社長に就任いたしました。今後、新経営体制のもと、当社をより存在価値の高い企業へと成長させ、株主の皆さまのご期待にお応えできるよう、誠心誠意努めさせていただきます。また、社会環境やお客さまニーズの変化には特に感受性を高め、勇気と覚悟をもって私自身も変化し続けてまいります。なにとぞ、一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 目指すビジネスの姿

今、世の中では情報のデジタル化が加速し、新しい社会、ライフスタイルが創出されようとしています。しかしながら、産業分野のIoT化やAIによるデータ利活用は、一部の業務効率化の目的にとどまり、企業の経営改善まで昇華させるソリューションに至っていないケースが多くみられます。  
このような中、私たちが目指すビジネスは、お客さまの事業パートナーとなり、対話を通じて目標と課題に寄り添い、真に経営改善に生かされるサービスを提供することにあります。お客さまとの対話によって、IoTとAIのコア技術を“生

きたサービス”に転換し、新たな社会価値を生み出していくことが私たちユビテックの使命です。オリックスグループの一員としての連携を強化し、より多くのお客さまのサステイナブルな企業経営に寄与し、新たな社会基盤の構築にインパクトを与える企業へと成長し続けてまいります。

#### 第44期業績と今後の施策

第44期は、当社のIoTとAIのコア技術を、時代の求める新しいサービスへと成長させるべく取り組んでまいりました。特に、車のIoTである「テレマティクスサービス」の次世代型車載機、作業者の健康と安全を見守る「Work Mate」、AI解析で製造業のお客さまの製品不良要因を特定し、品質改善と技術承継をサポートする「D-COLLECT」は、それぞれ開発や実証を終えて販売開始に至っています。一方、お引き合いは多数いただきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって2020年4月以降は商談案件の多くが翌期以降へ持ち越しとなり、その結果、第44期の業績につきましても、売上高は1,764百万円（前年同期比6.0%減少）、営業利益は51百万円（前年同期比60.5%減少）、経常利益は52百万円（前年同期比60.1%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は39百万円（前年同期比55.1%減少）と、2期連続の減収減益となりました。株主の皆さまには大変なご心配をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。

今後は、開発が完了した新しいサービスの加速度的な販売拡大を図ることが第一命題です。この目標達成には「マーケティング力」と「営業スピード」、および「外部発信力」の強化が急務であり、オリックスグループの営業基盤の活用や専門人材の採用、営業のデジタル化を積極的に推進してまいります。さらに、今後の社会とお客さまニーズの変化を適時適切に捉えて、経営改善に資するサービスへと常にカスタマイズさせていく、あるいは新たなサービスを生み出していく企業体質へと改善を進めてまいります。

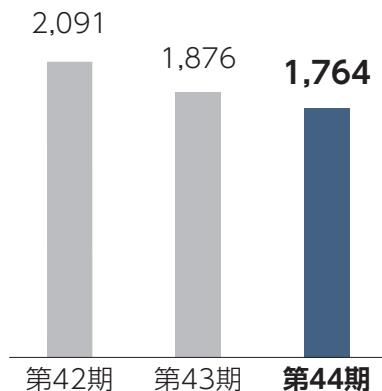
代表取締役社長  
大内 雅雄



# 連結決算ハイライト

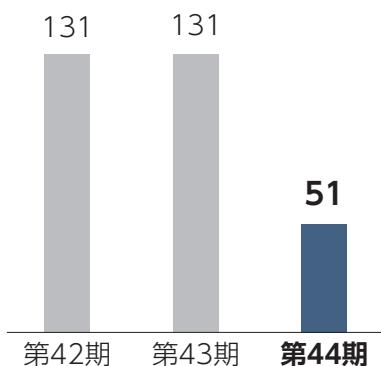
## 売上高

(単位:百万円)



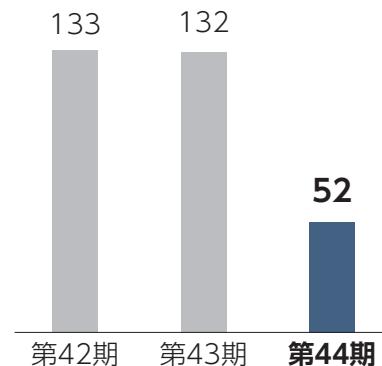
## 営業利益

(単位:百万円)



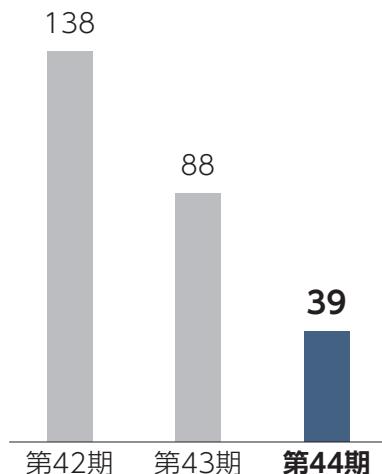
## 経常利益

(単位:百万円)



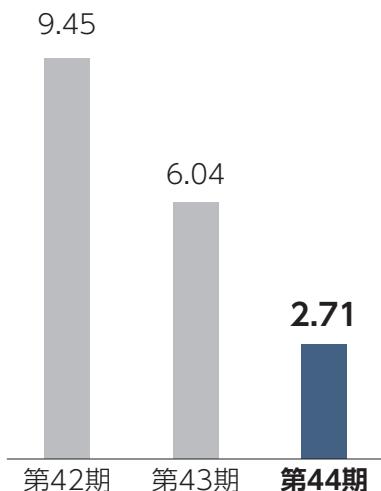
## 親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位:百万円)



## 1株当たり当期純利益

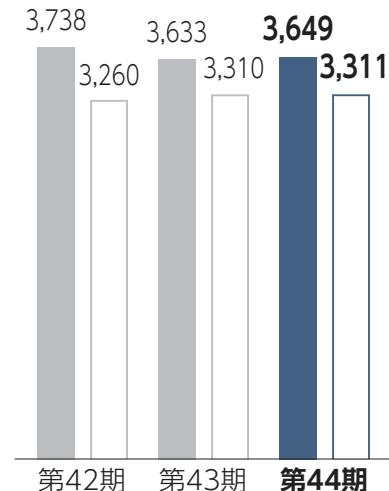
(単位:円)



## 総資産／純資産

(単位:百万円)

■ : 総資産 □ : 純資産

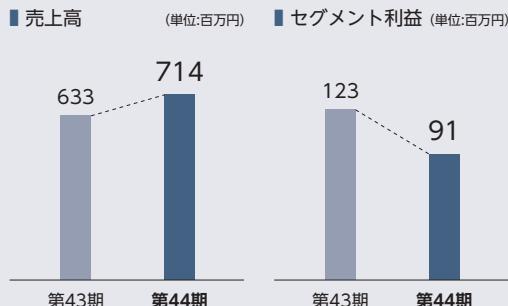


## セグメント別業績

### IoT事業

IoT事業は、第4四半期に予定していたカーシェア車載機の売上が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて翌期へ先送りとなりましたが、テレマティクス車載機の受注が回復傾向にあり、「Work Mate」および「ROOM CONCIER」についても着実に実績を伸ばしていることから、売上高は前年同期比で増収となりました。セグメント利益は、年間を通して「Work Mate」を始めとする新製品の拡販活動の強化を図ったことに伴い、販売費及び一般管理費が増加し、前年同期比で減益となりました。

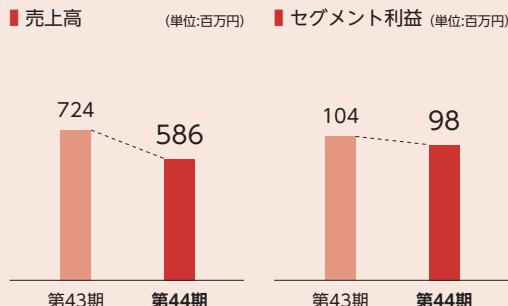
この結果、当連結会計年度の売上高は714百万円（前年同期比12.8%増加）、セグメント利益は91百万円（前年同期比25.7%減少）となりました。



### 製造受託事業

製造受託事業は、上期まで減少傾向が続いていた紙幣鑑別センサモジュールの販売に下げ止まりがみられ、下期は前年同期を上回る結果となりましたが、通信アミューズメント機器について、前連結会計年度に一部供給製品の生産終了があったことが大きく影響し、売上高、セグメント利益とも前年同期比で減収減益となりました。

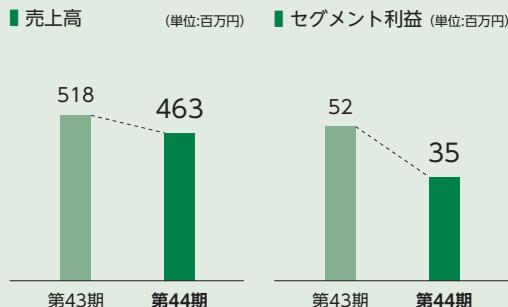
この結果、当連結会計年度の売上高は586百万円（前年同期比19.0%減少）、セグメント利益は98百万円（前年同期比5.9%減少）となりました。



### 開発受託事業

開発受託事業は、子会社のユビテックソリューションズにおいて、ダム制御システム関連の売上高は増加しましたが、医用分野における開発案件の規模縮小の影響をカバーするまでには至らず、売上高、セグメント利益とも前年同期比で減収減益となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は463百万円（前年同期比10.6%減少）、セグメント利益は35百万円（前年同期比32.1%減少）となりました。



# 株式情報 (2020年6月30日現在)

## ■ 大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
オリックス(株)	8,527,200	57.64
糸谷 輝夫	576,400	3.89
梶川 悦子	192,600	1.30
叶 毓菁	163,000	1.10
日本マスタートラスト信託銀行(株) (株式付与ESOP信託口)	145,800	0.98
後和 信英	136,800	0.92
(株)ライブスター証券	106,200	0.71
市嶋 朋子	100,000	0.67
(株)オサムシ	100,000	0.67
松岡 真二郎	70,200	0.47

(注) 上記の日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)は、社員の帰属意識の醸成と経営参画意識を持たせ、長期的な業績向上や株価上昇に対する意欲や士気の高揚を図るとともに、中長期的な企業価値向上を図ることを目的としたインセンティブ・プランとして、ESOP信託を導入したことによるものであります。

## ■ 株式の状況

### 発行可能株式総数

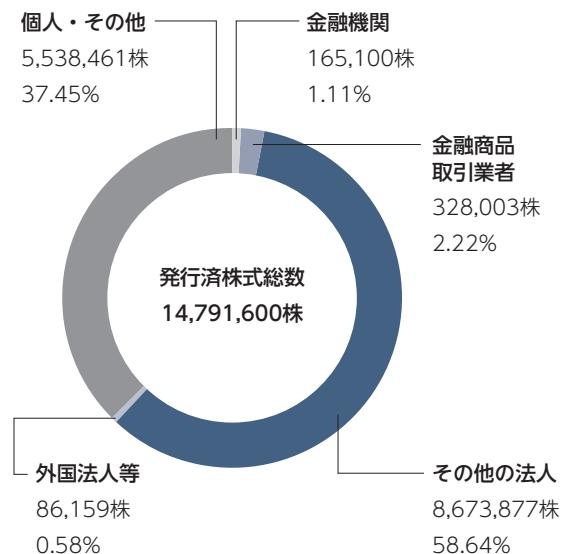
52,000,000株

### 発行済株式総数

14,791,600株

### 株主数

4,027名



# 会社情報 (2020年9月25日現在)

## ■ 会社概要

商号	株式会社ユビテック Ubiteq,INC.
設立	1977年11月17日
所在地	〒106-0047 東京都港区南麻布三丁目20番1号 Daiwa麻布テラス
資本金	941百万円
金融商品取引所	東京証券取引所 (ジャスダック)
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人
証券コード	6662
従業員数	81名 (連結)
連結子会社	株式会社ユビテックソリューションズ

## ■ 役員

代表取締役社長	大内 雅雄
取締役副社長	前川 淳
取締役	松田 和宏
取締役	高橋 英文
取締役	上谷内 祐二
社外取締役	江崎 浩
社外取締役	中澤 仁
常勤監査役	片野 一宏
社外監査役	津谷 忠男
社外監査役	大月 将幸

## ■ 株主メモ

### 事業年度

毎年7月1日から翌年6月30日までの1年間

### 基準日

定時株主総会、期末配当 毎年6月30日  
中間配当 毎年12月31日

### 定時株主総会

毎年9月下旬

### 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

### 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1番1号  
TEL.0120-232-711 (通話料無料)

### 郵送先

〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行 証券代行部

### 公告方法

電子公告 (<https://www.ubiteq.co.jp>)

ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

### ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

